

本校男子

■実技の状況について

- 握力（筋力）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性）
⇨ 全国平均を下回っている。
- 反復横跳び（敏捷性）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）
⇨ 全国平均おほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ハンドボール投げ（巧緻性、投球能力）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度であるが、やや下回っている。

■児童生徒質問紙について

- 運動・スポーツが好き、やや好き
⇨ 82.6%（全国平均89.0%）
- 体育の授業は楽しい、やや楽しい
⇨ 76.8%（全国平均88.2%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合
⇨ 26%（全国平均6%）
- 健康であるために運動を行うことが大切、やや大切
⇨ 84.1%（全国平均95.7%）
- 健康であるために食事をしっかりと取ることは大切、やや大切
⇨ 94.2%（全国平均98.8%）
- 健康であるためによく寝ることは大切、やや大切
⇨ 85.5%（全国平均97.2%）

本校女子

■実技の状況について

- 握力（筋力）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）
⇨ 全国平均を下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性）
⇨ 全国平均とはほぼ同程度である。
- 反復横跳び（敏捷性）
⇨ 全国平均を下回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力）
⇨ 全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）
⇨ 全国平均を下回っている。
- ハンドボール投げ（巧緻性、投球能力）
⇨ 全国平均を下回っている。

■児童生徒質問紙について

- 運動・スポーツが好き、やや好き
⇨ 65.9%（全国平均78.6%）
- 体育の授業は楽しい、やや楽しい
⇨ 59.1%（全国平均83.1%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合
⇨ 54.6%（全国平均19.1%）
- 健康であるために運動を行うことが大切、やや大切
⇨ 92.8%（全国平均95.5%）
- 健康であるために食事をしっかりと取ることは大切、やや大切
⇨ 97.6%（全国平均98.8%）
- 健康であるためによく寝ることは大切、やや大切
⇨ 95.2%（全国平均98.4%）

今回の調査結果の傾向

■実技の状況について

- 男女ともに、握力等一部の種目を除き、全国平均を下回っている。
- 特に、女子は、以下の種目で全国平均との開きが大きいことが課題として挙げられる。
 - ・ハンドボール投げ、上体起こし、反復横とび、立幅跳び
- 経年変化でも、本校女子の平均は、下降している。
- 女子の標本数が42と少ないことや、運動部活動に加入している人数が経年比で少ないことが影響していることが考えられる。

■児童生徒質問紙について

- 健康であるために運動を行うことが大切と考えている生徒は、全国と同様に多い。
- 1週間の総運動時間が全国と比べて少ない生徒が多い。
- 男女ともに「運動・スポーツが好き」「体育の授業が楽しい」と考える生徒が、経年より下降している。
- 市街地の中心部にある本校の環境が全体の結果に影響していることが考えられる。

改善の方向

■実技の状況について

- 仲間と関わりながらスポーツを楽しむ取組を、授業や特別活動等、学校の教育課程全体に位置づけて取り組む。
- 運動が苦手な生徒も、仲間と関わり、工夫しながら課題を解決する学びを通して、自己肯定感を高めるよう指導する。
- グラウンドの改修工事が、平成30年度に完了する予定であるため、新年度に向けて、体育的な行事の取組内容等も工夫改善を図っていく。

- 「健やかな身体育成」プログラムをもとに、家庭と連携しながら、健康三原則に基づく基本的な生活習慣の確立を図るための取組を工夫する。